

TAGAMI KOUMINKAN DAYORI

地域づくり・人づくり・町づくり

豊かな自然に囲まれて
穏やかな清流「浅の川」と、緑豊かな「角間」の里山に囲まれて。

田上本町
田上本町第2
朝霧台
田上町
田上1丁目
田上2丁目

田上新町
田上公町
田上さくら並木
田上の里

太陽が丘・ひまわり

・あおぞら
・そよかぜ
・ゆうひみ



上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

第114号

令和5年3月31日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部 <https://tagamicc.jp/>



「アンモナイトそっくり模型作り」と恐竜・化石のふしぎの体験教室」
2022年11月26日(土)に石川県立自然史資料館にて「アンモナイトそっくり模型作り」と恐竜・化石のふしぎの体験教室」が開催され、小学生と小学1〜2年生の保護者が参加しました。受付時に検温と消毒をし、体験教室を行う2階へ向かいながら、子どもたちは目に入る展示物に興味津々の様子です。席につくと模型作りを使うセットが用意しており、あくわくしながら眺めていると9時30分になりました。いよいよスタートです。

桂 嘉志浩(かつら よしひろ)先生(石川県立自然史資料館学芸員・古生物学者)が、恐竜の化石などの画像と

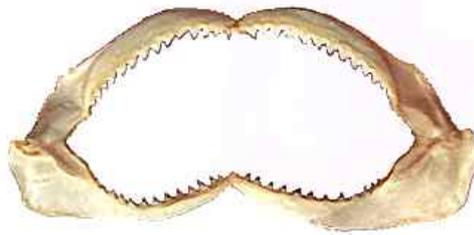
もに、お話をしてくださいました。最初はレプリカについてです。レプリカとは本物から型を取って作ったもので、レプリカだからできることは、「世界中の人に見てもらうことができる。」「研究できる。」「壊れても大丈夫。」「型があれば作り直せる。」とのこと。他にもいろいろな生物の進化や化石などについても学びました。桂先生は4年前にアメリカのモンタナ州でトリケラトプスの大きな角を発見したそうです。今日挑戦するのはアンモナイトの模型(レプリカ)ですが、アンモナイトの名前はアンモーン(神話に出てくる羊の角を持った神様)が由来だそうです。



化石についての知識を深めたところで、アノモナイトの模型（レプリカ）の作り方を教えていただきました。「石膏はヨーグルトくらい固さにする。時間との戦い。」「型から抜くのが難しい。」ということがわかりました。いよいよアノモナイト模型作りの体験が始まります。「石膏に水を入れる↓ダマができないようにきれいに混ぜる↓型に入れる↓軽くトントフして空気を抜く」という工程を1分以内でできるように目指します。この時間との戦いを少し緊張しながら終えたあとは、固まるのを待ちます。その間に、恐竜や貝などの化石のお話を聞いたり、化石に直接触れたり、化石と一緒に写真を撮ったり、顕微鏡で琥珀の中の虫を見るなどの貴重な体験をさせていただきました。

さて石膏が固まったら次はいよいよ型抜きです。慎重に型を壊さないように、少しずつ抜いていきます。「抜けたー」の声とともに弾ける笑顔。予定時刻の11時頃まで、めいっぱい楽しみました。開催にご協力いただきました皆さま、ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

一ツ寺 琴栄



第60回金沢市公民館大会・公民館フェア”楽集”開催

2月19日(日)金沢市文化ホールにおいて公民館フェア”楽集”が開催されました。

コロナ禍でオンライン開催されていましたが、今年は、人数制限をして行われました。

また、午後から行われた芸能フェスタバルもYouTubeでLive配信映像が視聴出来ました。各公民館の作品展示も市公連のHPで見ることが出来ました。

受賞者の皆さんには後日坂根館長より表彰伝達式が行われました。





おめでとうございます。

市公連連合会功労者表彰

関戸 正彦様 (前公民館長)



こども美術教室



写友会



押し絵教室



公民館永年勤続表彰

- 永年勤続 25年 清水 紀子様
- 永年勤続 20年 浦 達也様
- 小竹 博志様
- 下 豊明様
- 津田 正子様
- 永年勤続 10年 大島 昭彦様
- 杉浦 寛昌様
- 室谷 圭亮様
- 柳橋 修様



受賞された皆様おめでとうございます。
 今後のご活躍と公民館活動に更なる
 ご理解とご協力宜しくお願い致します。





城東地区二十歳のつどい

1月7日土曜日、曇天模様で雨が降りそうでしたが、何とか持ちこたえた天気の中、令和4年度城東地区公民館合同「二十歳のつどい」が開催されました。今年度より成人式から名称変更され、昨年に引き続き新型コロナウイルス対策を万全に行い、田上・杜の里地域から多数のみなさんが参加されました。

今回も会場内に入れるのは、コロナ対策の為、参加者と関係者のみとなり、ご家族は入れず残念な思いをされているようでした。入場できない分、YouTubeを使つての配信が後日行われ、玄関付近では看板の前に記念撮影されている方がたくさんみられました。

会場では、マスク姿ではありますが、皆さんの若々しい晴れ姿に、この日を迎えられたことの嬉しさが伝わってきました。

式典では、徳田副知事、村山市長から祝辞をいただき、「二十歳のつどい」代表の方々が二十歳の誓い等を行いました。

今年もマスク着用は義務として行われていたので、皆さんの本当の笑顔はみることができませんでした。今回は行動制限がないので、コロナ対策を講じながらの同級生の集まりもできたのではないのでしょうか。

